

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ日吉五丁目園	種別：認可保育所
代表者氏名：松本 雄一	定員（利用人数）：70名(利用人数：58名)
所在地：〒223-0061 横浜市港北区日吉5-29-18	
TEL：045-620-5660	ホームページ： https://www.gkids.co.jp/facilities/nursery_177.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2021年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社グローバルキッズ	
職員数	常勤職員：17名 非常勤職員：4名
専門職員	施設長：1名 主任1名
	保育士：14名 栄養士：1名
	調理師：1名 調理補助：3名
施設・設備の概要	保育室：3室 トイレ：3ヶ所
	調理室：1 沐浴室：1
	調乳室：1 事務室：1
	休憩室：1 園庭：あり

③ 理念・基本方針

【企業理念】 子ども達の未来のために
【保育理念】 豊かに生きる力を育てる
【保育目標】 1.好きなことを見つけ、輝ける子ども 2.思いやりの心を持ち、感謝できる子ども 3.生活する中で、自分の思いを表現できる子ども
【保育方針】 1.子ども達、一人ひとりの生活リズムや発達を捉え、丁寧な保育をする 2.自主性、主体性を大切にし、使いたいときにいつでも使える環境や時間に配慮する 3.一年を通してたくさんの本物に触れ、経験ができるよう保育を進める 4.子ども達の目線で、豊かな表情をもって、一人ひとりの気持ちをしっかり受け止め、その主体的な活動を育む

④ 施設・事業所の特徴的な取組

園は住宅街の中にありますが、園庭もあり屋外での遊びの他、米や野菜の栽培等も行ない食育にもつなげています。近隣には川や遊歩道があり散歩のコースとし、釣りをすることもあります。また、近隣にある慶応大学キャンパスは緑が多い山となっております。

り、夏には仕掛けを作りかぶとむしやくわがた採集を楽しんでいます。近隣には公園も多く、少し歩くと無料の動物園もあり、多くの自然に触れたり動物を見ることができ、散歩の際、近隣の住民と顔を合わせた際は挨拶をしたり、時には一緒に遊ぶこともあります。

現在多くみられる年齢によるクラス分けにより画一的な形となり、子どもの自由な発想や発育の妨げにもなっていると考えます。基本的にクラスごとに保育室を分けることはせず、遊びも食事と同じ場所で行なうようにしています。年齢が上の子どもは年齢が下の子どもと接することで、思いやりや愛おしさ等の感情が育まれます。年齢が下の子どもは上の子と接することで、言葉や文字、道具の使い方を自然と覚えます。子ども同士の関係の中で多くの刺激や発見、人間関係の構築も学んでいくことができます。まさに昭和の家庭、社会で当たり前のようにあった異年齢や他者との交流のある暮らしにあえて戻る必要があると考え、このような形での保育を実践しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年5月9日（契約日）～ 令和5年12月21日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)利用者本位の福祉サービスが実施されています

法人理念「子どもたちの未来のために豊かに生きる力を育てる」はホームページに掲載されています。入職時に法人作成の「コンセプトブック」、「クレド」（信条・行動指針）を1人ずつに配布し、共有化されています。園長は年度初めや職員会議で法人代表の動画メッセージを伝え、繰り返し「行動や理念」について説明しています。職員はまず、子どもの気持ちを聞き取り、希望が叶えられるような支援をしています。また子ども同士がお互いに相手のことを思いやれるよう接しています。保護者には入園時に渡す重要事項説明書で説明され、玄関に掲示されています。保護者からも子どもが大切にされていることが評価されています。

2)食事を楽しむ工夫がされています

年間食育計画に基づき様々な取組がされています。1階、2階それぞれランチルームが独立して設けられています。調理室はガラス張りで調理風景が子どもたちにわかるようになっています。調理室に隣接したランチルームには柿やキノコなどの季節の食材が子どもたちの手に取れる位置に置かれています。子どもたちに食への関心を促すように赤、緑、黄色に色分けされた3色食品群の掲示もあります。椅子やテーブル、食具も子どもに合うものを用意しています。0歳児以外は自分で食べられる量をよそってもらえますし、おかわりもできます。調理職員もランチルームで給仕や喫食状況を確認し、喫食状況は連絡帳で保護者に伝えています。園庭では稲やゴーヤなどを栽培しています。栽培したプチトマトを使ったピザをでピザ窯で作ったり、たこ焼きや、七輪でサンマを焼くなど、子どもが食事を楽しめるよう取り組んでいます。

3)保育の質向上への取組が積極的に行われています

全体的な計画、年間指導計画、月間保育指導計画、週案でも自己評価を行っています。全体的な計画は毎年3月に案を出して職員会議で話し合い作成しています。保育室の掃除や片づけ方法、行事の内容などが改善されています。法人作成の「目標設定シート」に沿って職員は年2回振り返りを行っています。「目標設定シート」に沿って園長面接を年2回実施し、評価を行なっています。園では年4回保育所保育指針に基づいて（総則、子どもの発達、保育の内容、保育計画、健康及び安全、保護者支

援) に対しての個人ミッションの自己評価を行っています。主任保育士がとりまとめ、園長を通じて法人総務課に報告して園内掲示をし、保護者に伝えています。法人の方針として3年に1度、福祉サービス第三者評価受審を実施しています。保育の質の向上に向けた職員や法人の姿勢が窺えます。

4) 地域との交流・協力体制の構築が望めます

近隣は住宅地ですが開園2年目と日も浅く、自治会への参加がないこともあり、地域との交流はまだ盛んではありませんが、園庭開放や育児相談、保育シンガーソングライターを招いた交流の機会をもっています。土地の所有者との関係は良好で、園庭の手入れ等の協力もみられ、関係は良好です。今年度はハロウィンイベント開催にあたり、地域の商店等に協力を依頼し、仮装した子ども達がお菓子をもらいに行く取組を行なう予定となっています。今後園でのイベントや避難訓練等にも参加・協力を得られ、通常時・災害時等の協力体制が構築されることが望めます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、評価機関の方や保護者の方からの声も参考に、改めてスタッフ全員で見直しを行うことができました。改善点については、スタッフ間で話し合いをし、今後の課題として取り組んでいきたいと考えています。また、良い評価を頂いたことは全スタッフの励みとなり、感謝しています。時代が変わり、保育の考え方も変わってきているので、今必要な事は何かを考えより良い、保育運営を行っていきたいと思っております。保護者の皆様には、アンケートにご協力いただきまして有り難うございました。また、評価機関の皆様には現場の声に耳を傾けて頂き、感謝しております。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり